

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第74回 ビジネス文書実務検定試験 (7.6.29)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. フォントの種類は明朝体とすること。
- c. プロポーションナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

- 1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
- 2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
- 3. 長音は必ず長音記号を用いること。
- 4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
- 5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
- 6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第74回 ビジネス文書実務検定試験 (7.6.29)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

首都圏の鉄道8社が、2026年度より二次元コードを印刷した乗車券を導入する。従来の磁気タイプのものから、順次切り替えていく予定だ。ICカードが普及したことで、乗車券の利用者は減る傾向にあるが、海外からの旅行者の多くは現在も使っている。	30 60 90 119
導入される背景には、今の改札機や券売機は複雑な構造であり、メンテナンスの費用が大きな負担になっている状況がある。改札機に乗車券が詰まることにより、利用者が足止めされてしまう場合もある。今回の切り替えで、それらの問題が解消できる。	149 179 209 235
また、用紙を変更することは環境面においてもメリットがある。磁気タイプには金属が含まれており、リサイクルの際に分離や廃棄が必要となるため、環境に一定の負荷をかけていた。これからは、用紙を変更することで再利用しやすくなるという。	265 295 325 349
将来的に他社間でシステムが統一されれば、利用者はエリアをまたいで乗車券を使用できる。さらに、券売機を使わずにオンラインで購入し、携帯端末だけで乗車できるようにもなる。これから先、鉄道の利用がより便利になることを願いたい。	379 409 439 460